

小学校第4学年学級活動学習指導案

日時 平成25年 月 日 ()

指導者 4年担任 教諭 廣田恭子

1 題材名 このことばで相手に気持ちが伝わるかな？ ((2)—情報モラル)

2 題材について

(1) ねらいについて

インターネットは、気軽に情報発信や受信ができる反面、メールやチャットなど文字だけのやり取りでは送り手が予想もしない誤解が生じることもある。電話や直接会って話す場合は声の抑揚や表情で相手の気持ちがよく分かるが、文字だけだとちょっとした言葉遣いから激しい言い争いになってしまうこともある。こうした可能性があることを十分理解した上で、インターネットを活用する必要がある。

そのためには、メールを受け取る相手の気持ちを考え、十分に言葉を選んでいるか、乱暴な言葉や汚い言葉を使っていないかなど、情報を送る前に確認することが大切である。この点を児童に十分認識させ、インターネットを活用させたい。

小学校学習指導要領では、コンピュータの基本的操作や情報モラルを身に付けることが明記され、学習指導要領解説「特別活動編」には、学級活動の内容として、情報モラルに関する指導が挙げられている。小学校段階から適切な情報モラル指導を行い、情報発信による他者や社会への影響及びネットワーク上のルールやマナーを身に付けさせていく必要があると考える。

また、情報モラルは日常的なモラルにもつながる点が多い。インターネット上のコミュニケーションの特殊性を考慮しながらも、基本は日常的なモラルの延長上にあることを児童に気付かせ、相手のことをよく考え行動する態度を育てたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は男子13名、女子13名（うち3名は特別支援学級在籍）、合計26名である。家庭で日常的にインターネットを活用している児童が数名いる。また、自分の携帯電話を所持している児童も数名いる。LINEなどのアプリを知っている児童もいる。そこで、本題材を通して、文字だけで思いを伝える難しさについて考えさせ、文字を受け取る相手の気持ちを考えながら言葉をやり取りする大切さに気付かせたい。

(3) 資料について

今回の学習では、「事例で学ぶネットモラル」（広島県教科用図書販売株式会社）の「このことばで相手に気持ちが伝わるかな？」を使用する。この教材は、アニメーションで資料を提示することができ、中学年段階の児童にも理解しやすいものである。

ある金曜日の帰り道、あきら、みゆ、じゅんの3人は、来週のドッジボール大会について話しながら帰っていた。あきはドッジボールが得意だが、みゆとじゅんはとても苦手だった。あきは2人に、「明日の土曜日、ドッジボールがうまくなるように特訓してやるよ」と誘った。みゆとじゅんの2人は、家の人に聞かないと分からないということで、返事は後でもらうことにした。その後、みゆからは電話で「いいよ。習い事は昼からだから」という返事があり、じゅんからはメールで「いいよ。習い事は昼からだから」という返事があった。そして、あきが待ち合わせの場所に行くと、みゆはやつ

てきたが、じゅんはとうとう来なかった。翌々日の月曜日、あきは、じゅんに「『いいよ』と返事をもらったのに、どうしてこなかったのか」と詰め寄った。それに対して、じゅんからは「『いいよ』って、断ったじゃないか」という返事が返ってきた、という内容である。

ここでは、文字だけで思いを伝える難しさと、相手の立場をよく考えて情報を発信する大切さを学習する。本学級にも、手紙やメモを使い友達とコミュニケーションを図る児童も多くいる。よって、この時期に、相手の気持ちを考えて思いを伝える大切さを学ぶことは重要だと考える。

(4) 指導にあたって

- 児童のメールに関する知識や経験には個人差があるので、授業の導入においてメールの特性を知らせる。
- 友達同士でメモや手紙のやり取りをしながら、遊ぶ約束をしている児童も多い。授業の導入でその経験を想起させた上で、映像クリップの視聴を行う。
- 映像クリップを見せる際に、1回限りの視聴では問題意識を持つことが難しい児童がいることも予想される。そこで、2回視聴させる。1回目は全体の概要をつかませ、2回目では誤解が生じた原因を見つけるようにさせたい。
- インターネット上だけのやり取りだけでなく、友達とのメモや手紙のやり取りなどの日常モラルとも関連させて考えさせる。
- 授業は、一斉指導の形態を基本に行う。

(5) 情報モラル教育の視点から

- 本時は、情報モラル指導モデルカリキュラム表における分類1「情報社会の倫理」a2-1「相手への影響を考えて行動する」の視点から授業を展開する。
- 学級通信等を通じて授業の内容を保護者に伝え、一緒に考えてもらうことにより、学校と家庭が連携して情報モラル指導を推進していくことにもつながると考える。

(6) 人権教育の視点から

- 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- 他の人の意見も尊重しながら、一緒に学習しようとする態度を育てる。
- 物事を自分自身のこと置き換えて考え、自分を大切にすると同時に他の人を尊重する態度を養う。

3 題材の目標と評価基準

題材の目標	文字だけでは気持ちが正しく伝わらないことを知り、相手の立場に立った情報発信を行おうとする態度を養う。
集団活動や生活への関心・意欲・態度	相手の立場を考えた情報発信に取り組もうとしている。
集団の一員としての思考・判断・実践	相手の立場を考えた情報発信をするためにはどうすればよいか考えている。
集団活動や生活への知識・理解	文字だけでは気持ちが正しく伝わらない場合があることを知り、相手の立場を考えた情報発信の在り方について理解している。

4 指導・評価の計画

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目（方法）
1	1	文字だけで気持ちを伝える難しさについて考え、相手の立場に立って情報を発信することの大切さを知る。	・ビデオクリップを見直しながら、みゆとじゅんの2人の伝え方の違いをしっかりと考えさせる。 ・相手の立場に立って情報を発信することは、インターネット上だけではなく、日常生活でも大切であることに気付かせる。	文字だけで気持ちを伝えるときに気をつけるべきことを理解している。 （シート・発言） 支援：文字だけでも意図がはっきり伝わる表現の仕方を考えさせる。

5 本時の学習（1／1時間）

- （1）目標 文字だけでは気持ちが正しく伝わらないことを知り、誤解を与えないために気を付けるべき点を考えることで、相手の立場に立った情報発信を行おうとする態度を養う。

（2）展開

過程	学習活動、主な発問（T） 予想される児童の反応（C）	指導上の留意点・評価	備考
導入 5分	1 メールの仕組みについて知る。 (T) メールを使ったことのある人はいますか。 (C) お母さんがメールをしているときに横にいて見ていました。 (C) お姉ちゃんの携帯を使って、一緒にちょっとだけメールを打ったことがあります。 (C) メールって、どこでもすぐに送れるから便利だと思います。	・メールの特性を十分におさえる。 ・いつでも ・どこでも ・だれにでも ・これまでに自分でメールを使ったことがない児童にも、家族のことを想起させたり教師の携帯電話メールを見せたりなどして、メールの特性を考えさせる。	
学習課題 文字だけで相手に気持ちをきちんと伝えるためには、どうしたらよいのだろう。			

展開 30分	2 映像クリップを視聴して、「いいよ」という同じ返事なのに意味が違ったことを確かめる。 (T) あきら君の誘いに対する、みゆさんとじゅん君の返事を比べながらビデオを見ましょう。 (C) みゆさんは電話を使って直接話していました。 (C) じゅん君はメールの文字だけでした。 3 みゆとじゅんがそれぞれに使った「いいよ」の意味を考える。 (T) じゅん君とあきら君の間には、どうして思い違いができたのでしょうか。 (C) みゆさんの返事は、「うん。一緒にやろうよ」の意味です。 (C) じゅん君の返事は、「いや。今日は一緒にできないよ」の意味です。 4 じゅんはきちんと気持ちを伝えるために、何に気を付ければよかったのかということを考える。 (T) じゅん君は、どうすればあきら君に思い違いされなかったのでしょうか。 (C) 電話で直接断るとよかったんじゃないかな。 (C) メールだったら、行けない理由をもっと詳しく書いて説明しなきゃいけなかったよね。	- 映像クリップは2回視聴させる。1回目は全体の概要をつかませ、2回目では誤解が生じた原因を見つけるようにさせたい。 2回目の視聴の際には、付箋紙に誤解の原因となる事柄をメモさせる。そして、視聴後に近くの児童同士で意見を出し合わせ、全体で共有するようにする。 2人の「いいよ」の意味を考え、学習シートに書き込む。書き込み後、なぜ誤解を招いたのかを話し合う。 「いいよ」の意味の違いを視覚的に分かりやすくするために、挿絵を活用した板書を行う。 - 児童各自の意見を大切にするために、小グループで話し合った後に全体での話し合いの場を設定する。 - 文字だけで気持ちを伝える難しさを全体で確認し、顔の表情や言葉の調子で気持ちが分かるなど、直接話をする良さにも気付かせる。 評価（ワークシート・発言） A 文字だけで気持ちを伝えるときに気を付けるべきことを理解し、手紙やメモ等を書く際にもいかそうとしている。 B 文字だけで気持ちを伝えるときに気を付けるべきことを理解している。 支援：まとめの映像を視聴させ、文字だけでも意図がはっきりと伝わる表現の仕方を考えさせる。	映像コンテンツ 挿絵 付箋紙 学習シート 挿絵 学習シート
終末 10分	5 まとめの映像クリップを視聴後、本時の学習を振り返りって感想を書く。 (T) まとめのビデオを見て、学習の振り返りをしましょう。	- 次の点を確認する。 ①文字だけで気持ちを伝える際には、もう一度読み直して、相手に誤解を与える表現になっていないかということを必ずチェックする必要がある。 ②メール以外の手紙やメモ等を書く際にも誤解を与える表現になっていないかを必ずチェックすることが大切である。	映像コンテンツ 学習シート